

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 04 上下水道事業の安定持続
主管課： 上下水道課
関係課： 生活環境課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、上下水道事業を持続する。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合（％）上下水道課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
88.80	88.50	90.10	89.50	89.50	90.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値から1.3ポイント、昨年度からは1.6ポイント増加し、目標値に対して0.1ポイント上回りました。 （原因）地区別の満足度は、何れも80%を超えています。昨年度に鉛製給水管や石綿管の更新工事を実施した守谷・みずき野・南守谷地区で増加し、安心安全な給水ができたことも満足度が高かった要因と考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

下水道放流水質基準の適合率（％）上下水道課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度同様、基準値及び目標値と同じ100%となっています。 （原因）浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業場排水調査に基づく適切な事業所への排水指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値が達成できたと考えられます。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	4,045,732	4,185,136	3,559,086	3,876,870	4,090,294
人件費	0	82,717	90,376	0	0
トータルコスト	4,045,732	4,267,853	3,649,462	3,876,870	4,090,294

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 水道水の安定供給	維持	向上				1,092,475	1,041,294	992,498	1,054,867	1,183,240
02 汚水の安定処理	横ば	低下				946,809	1,148,617	637,305	789,440	842,284
03 雨水の適正排水	維持	横ば				11,178	6,798	8,896	31,281	48,374
04 健全な上下水道事業の経営	向上	向上				207,478	249,266	156,147	237,536	253,718
99 施策の総合推進						1,787,792	1,739,161	1,764,240	1,763,746	1,762,678

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

年次計画に基づき、鉛製給水管及び石綿管の更新並びに浄化センターの改築更新を実施していきます。 また、安定した上下水道事業の継続を図るため、経営戦略を含めた水道計画・下水道計画を策定します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

施策全体としては、大きな問題やトラブルもなく、順調な事業運営を行っています。 今年度も年次計画に基づき、鉛製給水管（完了年度をH30からH32に変更）及び石綿管（H30完了）の更新並びに浄化センターの改築更新に取り組んでいます。 安定した水道水の供給と汚水処理を継続するためには、水道・下水道全施設を対象とした耐震化及び老朽化対策が必要ですが、費用と時間を要することから、今年度から水道計画・下水道計画の策定に着手し、事業継続のための経営戦略に基づいた事業実施に取り組んでいます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

安定した水道水の供給と汚水処理を継続するため、新たな水道計画及び下水道計画に基づいた事業の実施に取り組む。 2020年度の県水受水の増量に対応するため、後塩施設（塩素注入設備）を増強する。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加